

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動き、またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識は、依然として高く維持されている状況である。

当法人の2013年度は、メイン事業であるNPO等市民公益活動団体への支援プログラム「寄付と助成のプログラム」も3年目に入り、採択団体自身の受援力の差により寄付受入成果が異なることも分かってきた。そして、テーマ型基金では「沖縄まちと子ども基金」への共感を多くいただき、寄付付き商品での支援もいただけるようになった。

また、当法人が開発した地域円卓会議の手法へ、高い関心と評価をいただき、2013年度内に、大小合わせて10回の開催・支援を行った。また発行したマニュアル冊子は、全国から購入・問合せが相次いでいる。

しかし、財政的には非常に苦しい状況が続いており、運営基盤の見直しを行う必要性もある。

2014年度は、NPO等の受援力向上の支援を継続すると同時に、円卓会議を通じたネットワーク形成を図り、次の基金設置や協働への足がかりを築く。また、事務局を大幅に縮小・改編し、持続可能な運営体制の構築を図る。

1

## 2013年度の主な活動

累積受入れ寄付金額 23,115万円を達成！

2013年度の受入寄付額 4,920,777円  
前年度比 -249,260円

- **沖縄NPOデータベースの登録が334団体に**
  - 昨年度末より2団体増加。
  - facebookページでの情報発信も開始。現在584いいね！
- **「寄付と助成のプログラム」採択が通算23事業に**
  - 第5期ばくと 3事業採択 目標額合計 2,455,000円
  - 第6期たくす 採択なし
  - 採択事業（団体）を紹介する冊子『寄付なび』を1回発行。
- **寄付付き商品が3つ誕生**

(いずれも「沖縄まちと子ども基金」に対して)

  - 「沖縄美味しい豆腐詰め合わせセット」
  - 書籍『15歳へのバトン』
  - 書籍『17歳のあなたへ』
- **国交省より事業を受託**

(地域づくり活動に対する中間支援活動のコンテンツ整備のための優秀な取組事例調査)

  - 国頭村で3回連続の地域円卓会議を開催。
- **地域円卓会議が好評！ 10回開催・支援**
  - 県内で、多様な場所・テーマで9回の開催・支援。
  - 自治体学会静岡大会に招聘され、デモンストレーション開催。
  - 『沖縄式地域円卓会議開催マニュアル』も好評、当年度211冊頒布。



合同で開催した寄付付き商品からの寄付贈呈式の様子  
2014.1.16



左：『寄付なび』2012秋号  
右：『沖縄式地域円卓会議開催マニュアル』

2

## みらいファンド沖縄のミッションとビジョン

### 社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。

(定款第3条)

#### 情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営  
ソーシャル・ヒトワク  
広報誌等による情報発信  
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

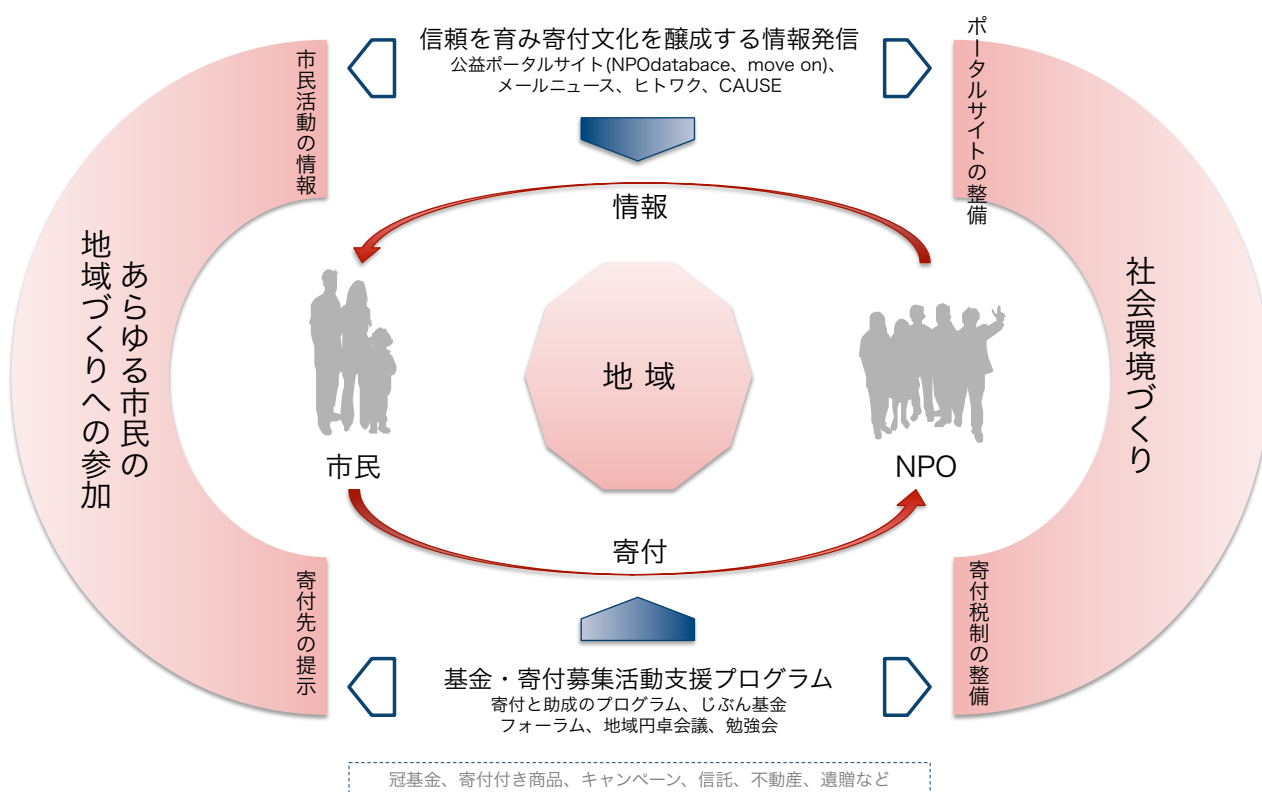
#### 資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営  
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供  
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催  
他機関の助成プログラム等の支援  
企業CSR/CRMの促進

3

## みらいファンド沖縄の活動

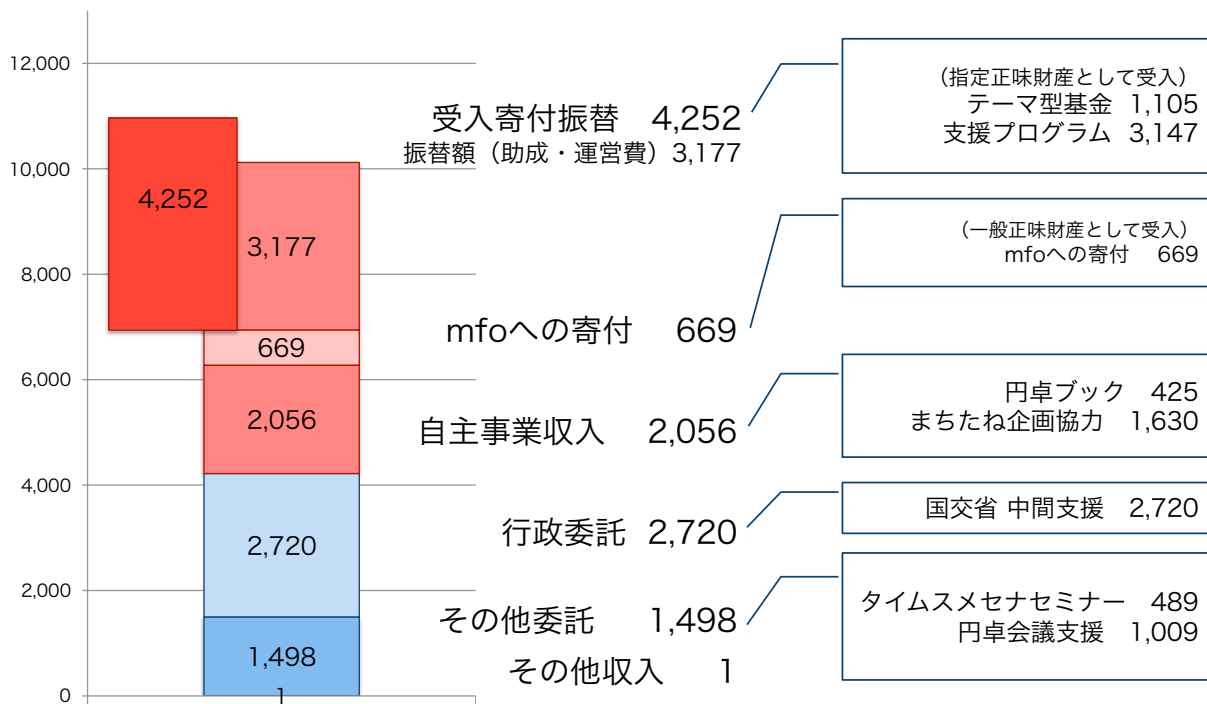


4

収入の部

収入合計 10,120

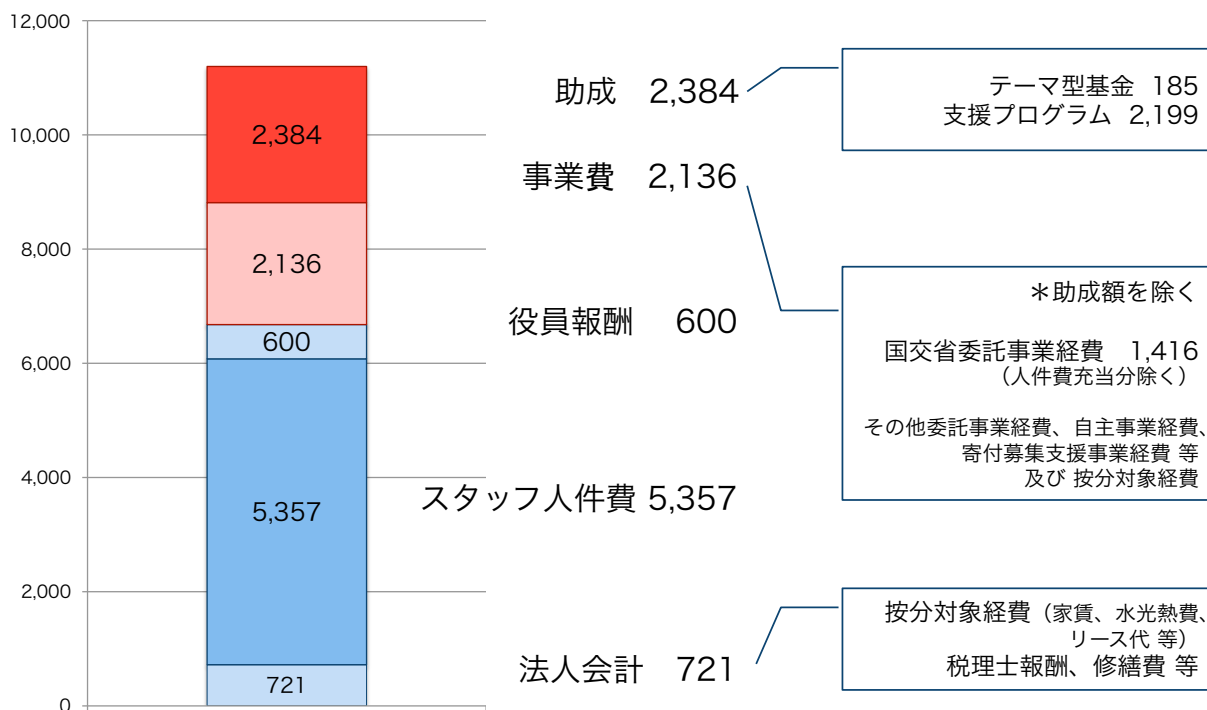
単位：千円（百円以下四捨五入）



支出の部

支出合計 11,198

単位：千円（百円以下四捨五入）



## 公1 情報流通事業

### 2013年度の概況

沖縄NPOデータベースを含む公益ポータルサイトとして運営している当法人のウェブサイトは、月間訪問者数は前年比+0.58%であり、一定の利用者がある。また、facebookページを活用した情報発信にも取り組んだところ、ページへのいいね数が586まで伸びた。さらにメールニュース配信サービスの活用を開始し、受信者数増に取り組んだところ、開始当初目標の1000人を超えた。

web site、facebook、メールニュースの、それぞれの特性を活かした情報発信をすることにより、当法人の認知度向上に一定の成果が出ていると体感している。

広報誌『CAUSE』については昨年度で那覇市からの委託終了で資金的目処が立たず、昨年度に引き続き当年度も休刊した。

昨年度末に発行した『沖縄式地域円卓会議開催マニュアル』は引き続き好評を得ており、当年度中に211冊を頒布。県外からの申込みも多く、また、県内のある市社協が研修会のテキストとして一括購入するというケースもあった。

「公1 情報流通事業」は依然として資金の調達難しい構造になっており、今後はブックレットの発行等、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

2014年度 方針

NPOデータベースの登録を引き続き促進し、既存の登録についても情報の充実を図り、NPOの信用向上に寄与することをめざす。また、公益認定の変更等を視野に入れた、事業全体の見直しを図る。

7

## 公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(1)	公益ポータルの運営	通年	公益活動団体の信頼を育む情報発信をインターネット上で行う。 NPOデータベース登録数：現在334団体（2団体増） 年間閲覧数：訪問数60,565（+0.58%）、 ユニークユーザー数44,445（+7.86%）、 ページビュー数114,993（-13.73%）
公1 -(2)	他機関連携・情報収集	—	全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。 ・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回） ・2/28-3/1 日本財団公益ポータル連絡会 ・7/1 全国協働推進自治会フォーラム（円卓会議事例紹介） ・2/20 地域円卓会議フォーラム@三重（事例紹介） ・全国市民コミュニティ財団集合研修 （10/29-30 京都、1/14-15 岡山、2/26-27 福島） など



全国市民コミュニティ財団集合研修@那覇のようす

\* 公1-(3)フォトレポーターサミット については当年度は実施していない

8

## 公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -(4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	通年 再放送あり	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm (78.0MHz) で放送した。  NPOヒトワク- 放送回数14回 (2010年度からの通算121回)
公1 -(5)	広報誌の発行	3月	広報誌『CAUSE』は当年度は休刊した。 ブックレット『沖縄式地域円卓会議 開催マニュアル』を211部頒布。(累計304部)  ブックレット『沖縄式地域円卓 会議開催マニュアル』の表紙
公1 -(5)	メールニュースの発行	通年 定期配信-月1回 臨時号は適宜	イベントや助成金の情報、mfoの支援NPO の紹介等を行うメールニュースを発行した。 イベント直前等に臨時号を発行している。 メールニュース発行回数14回(通算51回) 登録者数 1234人(配信 1093人)  なお、「ブレインメール」という配信システムを利用開始し、名刺 交換等だけでなく、関心を持った方が任意で登録できるようにして いる。



\* 公1-(3)フォトレポーターサミット については当年度は実施していない

9

## 公2 資金循環事業

### 2013年度の概況

「寄付と助成のプログラム」では第3期と第4期が寄付募集活動支援期間が終了した。第3期は、採択3事業中、2事業が寄付受入目標額を達成し、第3期全体の寄付受入目標合計額を超えた。しかし、第6期は採択なしという結果になり、NPOに寄付募集への意欲をどう促すかという課題も感じた。

テーマ型基金「沖縄まちと子ども基金」は共感が高く、さまざまな寄付申込みがあった。また、この基金への3つの寄付付き商品での支援が始まった。

2010年度より開催を重ねてきた「地域円卓会議」は引き続き好評で、当年度は大小合わせて県内で9回、県外でも1回の開催に関わった。前年に着席者として呼ばれた人が、自分の課題で開催したいという連鎖的な依頼が増えてきている。また、那覇YEGとは当年度中に3回協働開催した。

この円卓会議での対話促進を軸とした、国頭村での「木育」での地域づくり活動支援を対象に、国交省から事業を受託。計3回の連続した円卓会議の開催と、地域づくり活動を支援する基金の設置検討を行った。

なお、「沖縄離島バドミントン基金」を、一定の役割を果たしたことから、当年度をもって終了した。

### 2014年度 方針

4年目を迎える「寄付と助成のプログラム」を改革し、採択団体数増をめざす。また、地域円卓会議等の開催を通じ、地域での協働を促し、寄付だけでなく地域資源の循環に、引き続き取り組む。

10

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(1)	世界若者ウチナーンチュ大会 支援基金 	2012年6月設置	助成指定先：世界若者ウチナーンチュ連合沖縄本部 寄付受入額 100,000円 助成金は、7月に開催されたアメリカ大会開催費・渡航費として役立てられた。  報告会での助成金授与式の様子
公2 -(1)	沖縄まちと子ども基金  1/16に開催した、合同寄付 贈呈式の様子	2012年12月設置	助成先：公募 寄付受入額 342,294円 助成 2013年度 2団体採択 助成交付決定額合計 400,000円 ※決定後辞退1件200,000円  また、この基金を支援する「寄付付き商品」が3点誕生した。 -- 「沖縄美味しい豆腐詰め合わせセット」 -- 書籍『15歳へのバトン』 -- 書籍『17歳のあなたへ』
公2 -(1)	やんばる木育円卓会議を通じた、基金設置の検討 *国交省「地域づくり活動に対する中間支援活動のコンテンツ整備のための有料な取組事例調査」事業	6月～2月	円卓会議での対話と、地域でのヒアリング調査実施を通じて、地域づくり活動を支援する基金の設置について検討を行った。 *国頭村との協働による検討 *円卓会議を3回開催 *日本グッド・トイ委員会と連携

\* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

11

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第3期ぱくと	寄付募集支援期間 2012年9月～ 2013年8月 終了	3事業を支援 寄付募集目標合計額 2,185,000円 当年度の寄付受入総額 1,035,866円 (通算2,454,966円) *寄付募集目標合計額を超える受入額を達成!
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第4期たくす	寄付募集支援期間 2013年3月～ 2014年2月 期間中	4事業を採択(申請5件) 2事業が第2期からの継続、2事業が過去採択団体 寄付募集目標合計額 5,898,300円 当年度の寄付受入総額 948,696円 (通算1,040,696円)
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第5期ぱくと	寄付募集支援期間 2013年9月～ 2014年8月 期間中	3事業を採択(申請3件) 寄付募集目標総額 2,455,000円 当年度の寄付受入総額 1,069,200円 *採択事業(団体)を紹介する冊子『寄付なび2014春』を発行
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 第6期たくす		採択なし(申請2件) 2事業から申請があったが、不採択とした。

寄付と助成のプログラム系の  
寄付受入金額 当年度合計 3,053,762円  
(前年度比 +254,396円)

12



## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(2)	寄付と助成のプログラム 支援プログラム   ガイダンスでのスタート アップセミナーのようす	通年	公募及び選考 年2回（第5期6月～8月、第6期12月～2月）  採択団体向けガイダンス 5期向け  『寄付なび』の発行 1回 終了時ヒアリングとアンケートの実施
公2 -(3)	じぶん基金 沖縄離島バドミントン基金   2013.7.6 宮古島での講習会 のようす	通年 *4年目	当年度受付寄付額 80,000円 通算寄付受付額 1,159,400円  助成対象団体は、4年間で通算42回の講習会を開催。他の助成金獲得や、自主開催の有料講習会等での自立が実現したので、当年度でこの基金を終了することになった。 (基金設置期間の実績) 受講した子どものべ人数 2070人 派遣した指導者の人数 108人 寄贈したシャトルの数 3,840球 講習開催した地域・離島 粟国、渡嘉敷、与那国、北大東、南大東、宮古島、石垣、那覇、糸満、うるま

\* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない

13

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業概要
公2 -(5)	他機関支援 タイムス・メセナセミナー 事業のアドバイザー派遣 *沖縄タイムス社からの委託事業	期間11月～2月	企業等の芸術文化への支援（メセナ）振興をめざすセミナー開催等の事業に対し、アドバイザーを派遣した。 セミナー 企業・団体向け 12/18、1/17、2/20 個人向け 2/10、2/12 メセナと寄付税制を 紹介するパンフレットの監修   メセナセミナーのようす
公2 -(6)	地域円卓会議の開催・支援   地域円卓会議のようす	10回 県内9回 県外1回	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 7/17 那覇YEGトランジットモール円卓会議 8/14 那覇YEGキャリア教育円卓会議 9/24 やんばる木育円卓会議1 10/9 うるま市海洋性空間活用円卓会議 12/19 やんばる木育円卓会議2 2/1 経済団体キャリア教育サミット 2/13 やんばる木育円卓会議3 3/1 南城市尚巴志のまちづくりを考える円卓会議 3/19 那覇地区公民館連絡協議会円卓会議 *やんばる木育円卓会議は、国交省委託事業（公2-(1)）の一環として実施  *11/29 静岡清沢レモン円卓会議 自治体学会静岡大会の第3分科会としてデモンストレーション

14

## 公2 資金循環事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期等	事業概要
公2 -(7)	寄付付き商品の振興	—	商品と寄付先のマッチング ・「 <u>沖縄美味しい豆腐詰め合わせギフト</u> 」 (株)池田食品、トミ家工房のコラボ商品の売上の1%を「まちと子ども基金」へ受入 ・書籍『 <u>15歳へのバトン</u> 』 興南中学校の活動をまとめたインタビュー集 経費を除いた売上を「まちと子ども基金」へ受入 ・書籍『 <u>17歳のあなたへ</u> 』 貧困問題についてのエッセイ集 売上の一部を「まちと子ども基金」へ受入



15

## その他（法人運営等）

### 2013年度の概況

事務局を移転し、人員についても縮小をするなど、経費削減には取り組んだが、依然として財務状況は厳しい状態が続いている。年度末までに2名の事務局員が退職した。また、事業の運転資金として、国交省の事業受託を機に、短期の資金融資を受けた。

また前年度からの懸案事項であるが、現在の事業体系は、那覇市委託事業を元に計画したが、会計上、公1と公2のバランスが良くないことが、事業を進める中で分かってきたこと、また3年目の公益法人立入検査前後での指導においても、公益認定の変更申請をした方が良いのではとのアドバイスを県よりいただいた。これまでの経験と周囲からの評価によって、今後重点を置くべき事業も見えてきたことから、次年度は公益認定の変更申請に本格的に着手する必要があると感じられる。

2014年度 方針

持続可能な運営体制をめざすため、事務局体制の再構築を図る。  
また、事業体系の見直しに着手し、公益認定の変更申請について検討する。

16



## 受入れ寄付額と助成の実績

	法人設立当初の 受入寄付 年間目標額	受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (1年目)	200万円	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (2年目)	1000万円	3,824,684円	13,022,838円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (3年目)	2000万円	5,170,037円	18,194,341円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む
2013 (4年目)	3000万円	4,920,777円	23,115,118円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらいファンド沖縄への寄付を含む

	受入寄付 年間目標額	受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度目標額	備考
2014 (5年目)	5000万円	—	—	4250万円	
2015 (6年目)	1億円	—	—	8500万円	

17

## 略年表

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	・キックオフフォーラム	・衆議院選挙で民主党圧勝 ・裁判員制度施行
2010 H22	・法人設立 ・那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託 ・「じぶん基金」プログラム2基金スタート ・沖縄NPOデータベース公開	・普天間基地の辺野古移転が白紙に ・沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 ・「新しい公共」円卓会議 ・11月 仲井真知事 再選 ・12月 ISO26000発効 ・3/11 東日本大震災
2011 H23	・公益財団法人化 ・「寄付と助成のプログラム」スタート ・H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託 ・クレジットカード決済スタート ・PSTをクリアし、税額控除認定を受ける	・6月 新しい市民公益税制が成立 ・6月 改正NPO法が成立 ・7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝 ・10月 世界のウチナーンチュ大会
2012 H24	・H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託 ・「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置 ・カンバイチャリティを開催 ・「沖縄まちと子ども基金」設置	・4月 新認定NPO法人制度スタート ・5月 沖縄の本土復帰40周年 ・8月 ロンドンオリンピック ・11月 那覇市長に翁長氏が4選 ・12月 衆議院選挙で自民党圧勝 ・2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生
2013 H25	・4月 事務局をタイフーンfm内に移転 ・6月 国交省 事業受託 ・7月 累積寄付受入額 2000万円を突破	・4月 インターネット選挙解禁 ・6月 富士山が世界遺産に ・11月 旧民法法人の移行特措期間終了
2014 H26 (予定)	・6月 「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始	・4月 消費税増税(8%)に ・9月 FIFA杯 モロッコ大会

2015年4月 設立5周年

18